

輝ける場所が 庄内町にある



(有)社寺工房上野
本登 息吹さん

「長く後世に残るものを作る
やりがいのある仕事です」

本登さんは鶴岡市出身の26歳。中学生の頃から宮大工を目指しており、今は(有)社寺工房上野で活躍しています。後世に残るものを作ることに誇りを持って働いている本登さんに、仕事のあれこれを語っていただきました。

「子どものころにお祭りなどで神社や寺に行ったときに、建物がどのように作られているのか興味がありました。中学二年生の頃には宮大工になるうと決意を固めていたと思います。県外での就職も考えていましたが、地元でも職場を探したところ、社寺工房上野にたどり着きました」

「どんな仕事をしていますか？」

「神社仏閣の新築・改修です。今は静岡のお寺を改修しています。具体的には部



△現場作業中の本登さん

「2年目のときに地蔵堂を作ったことです。私が最初から

印象に残っている現場はありますか？」

「私が作った物が長く後世に残るといことです。もちろん手入れをすれば、500年近く持つものなので、丁寧な作業を心がけています。新築や改修に携わった以上、みなさんには大切に使うて欲しいですね」

「仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？」

「品物の加工や組み立て、塗装などを行います。色々な作業がありますが、大工らしい作業なので加工全般が好きです(笑) 役割分担などは特に無いので、全体の流れを見て作業に取りかかっています」

「現場がほぼ県外なので、1年目はホームシックになりました。なかなか泊まりこみの集団生活に慣れず…。今は慣れましたし、休みの日はよく街へ遊びに出かけています」

「働いて大変だったことはありますか？」

「夜勤はないし、残業などもほとんどありません。生活リズムが安定しています。また親方が話しやすいことも良かった点です。分からないことがあればなんでも丁寧に教えてもらえるので、変に緊張することはないです」

「これから宮大工を目指すみなさんに一言」

「大変な仕事だと思います。長く残る地域のシンボルを作るわけですから、強い責任感が必要です。ですが、多くの人に長く親しまれるものを作ることは、楽しくやりがいのあることです。とても魅力のある仕事だと思います」

企業DATA

社寺建築の専門的な知識と技術を有する建築会社。その歴史は長く、大正13年に「上野林蔵大工」として創業し、今年で101年目を迎えた。県内外から受注があり、近年は鶴岡市の龍蔵寺の山門や永福寺の本堂を手掛けた。建物のほか、御堂やテーブル製作も。



(有)社寺工房上野
狩川字西田123-10



△現在施工中の静岡の現場

庄内町には約860か所*の事業所があります。事業所の数だけ「職場」があり、働く人たちがいます。様々な仕事、たくさんの人に支えられ、私たちの生活は成り立っています。庄内町で働いている人は様々です。庄内町出身の人であれば、そうでない人も。どの人にも、庄内町で働く、庄内町の事業所を選んだ理由があるはず。本特集では、町内の5事業所で働く若者のみなさんにフォーカスし、仕事の魅力を語っていただきました。地元を離れ都市部で働く若者が多い今、庄内町で働く若者が何を思っているのか、輝く姿にご注目ください。

※令和6年度版庄内町の統計より抜粋。数値は令和3年度時点のもの。

【庄内町企業ガイダンス】

学生および保護者、UIターン希望者、一般求職者向けに、町内企業が参加する企業ガイダンスを開催しています。

■問合せ：商工観光課商工労働係 ☎0234-42-0138



△山形県就職情報サイト



△山形地域特化型の転職サイト



(株)大商金山牧場
大滝 政勝さん

「食の安心・安全を最優先に
元気のみなもとを作っています」

大滝さんは鶴岡市出身の24歳。温海在住で、庄内町まで片道50分の通勤を毎日こなしています。庄内町で働く理由には、家族を支える強い意志と食に向き合う誠実な姿勢がありました。そんな大滝さんに、仕事のあれこれを語っていただきました。

―就職したきっかけを教えてください―

「小さい頃から食に興味があり、食に携わり、食文化を学

べる仕事がしたいと思っていました。

また、私は鶴岡に住んでいるのですが、庄内を離れて、都会で就職することは考えませんでした。なぜかというと、これまで育ててくれた親に恩返しがしたかったからです。親も高齢になり、今度は自分が親を支え、家計も支えたいと思い、自宅から通う決意をしました。あつ、このことは照れくさいので親にはナイ



△機械操作もこなす大滝さん

―仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？―

「お取引様からの産地指定などのニーズを的確に把握しています。さらにお肉によって消費期限の違いもあることから、このことも頭に入れないが確実に納品できた時にとて

シヨですが(笑)」

―どんな仕事をしていますか？―

「主に出荷作業を行っています。カットされたお肉を箱づめし、出荷先ごとに仕分けています。バラ肉やロース肉など部位ごとに、お取引先様の細かいニーズに答えます。衛生面はもちろんのこと、間違いないく丁寧にお届けすることを心がけています」

「地元には様々な職種の企業があり、社会を支えています。いろいろな情報を事前に調べて、できれば自分がこの先も続けられる!と思った仕事を選んだ方がいいと思います」

―これから就活をするみなさんに一言

また、出荷業務を通じて、庄内地域の物流を知ることでもできました。自分で言うのも何ですが、物知りになったと思います!」

企業DATA



(株)大商金山牧場
家根合字中荒田21-2

昭和54年内の大商として設立。平成14年旧余目町にミートセンター開設。自社ブランド豚「米の娘ぶた」は農林水産省生産局長賞を受賞しグランドチャンピオンの称号を獲得。食への安心安全を最優先に考える総合食肉会社。



△間違いのないよう
慎重に仕分けます



(社福)和心 すくすく保育園
斎藤 南海さん

「子どもたちの成長を間近に
見ることができる仕事です」

斎藤さんは酒田市出身の23歳。保育士として働き始め今年で4年目になります。保育園の最前線で働く斎藤さんに、仕事のあれこれを語っていただきました。

―就職したきっかけを教えてください―

「酒田市内でいろいろな保育園を見学していたところ、庄内町にも保育園があることを知りました。園の雰囲気が高く、先生たちの楽しそうな表

情が忘れられなかったもので、この保育園で働きたい意思が固まりました」

―どんな仕事をしていますか？―

「今年からは1歳児を担当しており、音楽を生活に取り入れながら、子どもたちの生活と遊び(学び)を大切にしたい保育を行っています。1歳児は意思疎通が難しい場面も多いので、言葉だけでなく身振り手振りを含めてコミュニケ



△子どもと水遊びをする斎藤さん

―働いてよかったことはありますか？―

「子どもたちの成長を間近に見ることができるとです。お話できなかった子が友達に気持ちを伝えられることができた時は、担任間でその話題で持ち切りになります。また、保護者のみなさんと子どもたちの成長を分かち合えることもやりがいを感じる瞬間です。普段子どもたちがどんな風に園生活を送っているのか情報を共有したり、家庭での姿も伺いながら徐々に出来ることが増えていく喜びを一緒に感じる事ができました。とても嬉しい気持ちになりますね」

―働いてよかったことはありますか？―

「保護者の方々は優しい方ばかりで恵まれているなと感じますし、地域の方とも距離感が近く感じます。園内の畑に御殿町集落のみなさんがサツマイモやきゅうりなどを植えてくださっています。子どもたちとの散歩の時も地域のみなさんが手を振ってくれて、とてもあたたかい地域だなと働いてみて思いました」

―働きやすいと思うところは？―

「チーム保育なのでいろいろな方面から子どもたちを見て職員間で共有できることです。一人ひとりのいいところをいっぱい見つけながら、ゆったり手厚く子どもたちをサポートさせていただいています」

企業DATA



すくすく保育園
余目字大塚39-1

平成23年に設立された社会福祉法人和心は、認定こども園からふる、余目保育園、そしてすくすく保育園を運営しており、現在は合計308人の園児が在籍。(年度末で355人)すくすく保育園は同法人設立当初から運営されている施設で、町内外からの利用がある。



△園内に貼る展示物を製作中
子どもたちと金魚を作っています

「色々な保育園を見学しててください。実際に目で見て感じて、園内の雰囲気を感じてみるのが大事だと思います。就職後についても不安なことは多々あると思いますが、そんな時は先輩に相談できる環境があるので、心配しないで頑張ってくださいね。応援しています」

―これから保育士を目指すみなさんに一言



(株)庄内測量設計舎
成田 蒼良さん

「暮らしを支えるインフラ整備 創造のちからで土台を創ります」

―就職したきっかけを教えてください―

「私は庄内が好きなので、地元就職を考えていました。公務員や民間企業など様々な就

成田さんは三川町出身で今は庄内町に暮らす27歳。技術職として働き始めて今年で6年目を迎えました。インフラ整備の土台となる仕事に励む成田さんに、仕事のあれこれを語っていただきました。

職先を視野に入れていたのですが、最終的にはインフラ整備に直接関われる仕事をしてみたいと思い決めました」

―どんな仕事をしていますか？―

「補償業務を行っています。補償業務とは、公共事業を行う時に土地や建物の取得や移転が生じる場合があるので、その関係者の方々に生じる損失を補償するための調査や費用の算定を行う仕事のこ

とです。4年の実務経験を経て、今年「補償業務管理士」の資格を取得することができました。この資格を活かして仕事をしています。

―仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？―

「公共事業の一役を担っているという自負があります。社会を支えるインフラ整備に関わっているという実感がやりがいに繋がっていると思います。自分が調査した箇所の道路が完成していく様子を見ると感慨深いですね」

―働いて大変だったことはありますか？―

「補償業務では、権利者や関係者とのやり取りが多く、常に丁寧で誠実な対応が求めら



△現地調査では3D技術を活用

企業DATA



(株)庄内測量設計舎
余目字三人谷地69-9

昭和41年に設立された建設コンサルタント。庄内町の本社を拠点に、仙台・山形・米沢・岩手などにも支店・営業所を展開し、河川・砂防、道路、橋梁、農業土木、補償コンサル、測量・地質調査など広範な技術サービスを提供している



△様々なデータを駆使し
成果品を作り上げます



(株)スズキアリーナオオヤ立川店
高橋 七海さん

「色々なお客様とお話する時間が 一番楽しいです」

高橋さんは酒田市出身の23歳。事務職として採用され今年で6年目を迎えました。お客様とのコミュニケーションを大事にしているという高橋さんに、仕事のあれこれを語っていただきました。

―就職したきっかけを教えてください―

「就職する前から車に興味がありましたし、人と接することも大好きでした。私に営業は難しそうだなと思っていた

ので、車にも人にも関わられる事務職を選びました。もともと私の親が当店で車を購入していたので、以前から親しみのある店舗でした」



△電話対応中の高橋さん

―どんな仕事をしていますか？―

「接客や、電話対応、事務作業、ご予約の受付などです。当店は年配のお客様が多く、ゆっくり話したり、あえて訛ってみたりと、話しやすいよう心がけています。おかげさまでパソコンスキルやコミュニケーション能力が向上したと思います」

―仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？―

「お客様から感謝のお言葉をいただいた時です。私は直接お客様のお車を整備することはないのですが、わざわざ受付までお声がけいただけのお客様もいて大変嬉しい気持ちになります。当店はほかのディーラーさんよりもお客様との距離が近いように思います。色々なお客様とお話する時間が一番楽しいです」



△試乗車を紹介する高橋さん

企業DATA



スズキアリーナオオヤ立川本店
狩川字水除4-1

(株)スズキアリーナオオヤは、自動車販売（新車・中古車）、自動車検査、修理、車検、板金塗装などを行うスズキ(株)の正規ディーラー。昭和50年に創業し、今年で50周年を迎えた。立川本店、酒田店、鶴岡店の3店舗を構える。「オオヤ」は創業者の苗字が由来。

―歌うことです。通勤に30分くらいかかるのですが、車の中でよく歌っています。また車を見ることが好きなので、仕事中的スキマ時間について外を眺めてしまいます(笑) おかげで車種をすぐに言えるよ

「職場の雰囲気大事だと思います。当店では、事務職だとか整備士だとか関係なく話せる雰囲気があり、とても働きやすいです。就職の前に一度見学してみるといいと思います」

―これから就活をするみなさんに一言―

「うになりました」